

平成25年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

第2回森の図書館&ブックワールド

平成25年12月7日(土)～8日(日)

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

子どもたちに読書体験活動を推進することを通して、読書の楽しさや面白さを感じてもらい、進んで読書をしようとする態度を育む。また、子どもの体験活動や読書活動の振興を図るために、子どもゆめ基金の普及啓発を行う。

2. 事業の概要

- (1)期 日 平成25年12月7日(土)～8日(日)
- (2)募 集 幼児・小学生とその家族
- (3)参加者 第2回森の図書館 11家族 39名
ブックワールド 157名
- (4)公演団体 おはなしグループ「そらきたホイ！！」
新見子ども読書会
岡山ストーリーテリング研究会
糸あやつり人形劇団 つきみ草
ノートルダム清心女子大学 児童文化部

(5)企画・運営のポイント

子どもゆめ基金の普及啓発及び読書の楽しさや面白さを感じてもらうという趣旨をより反映するという視点をもち、様々な団体と連携協力しながら、企画運営を実施した。

①団体との連携

岡山県内の図書館や公民館、教育委員会等と連携し、新規に4団体の公演を実施することができた。その際、子どもゆめ基金の趣旨をふまえ、保護者が子どもころ夢中になった本を、そのころの気持ちに戻って実際に読み聞かせをしてもらったり、お話の内容を人形劇の視聴やクラフト作りを通して可視化することで、今の子どもたちへの本を読む面白さを継続できる内容を公演団体に依頼した。

②書籍の確保

岡山県立図書館との連携により、特別貸出による200冊の書籍を確保した。なお、書籍を選定する際、図書館司書にテーマ別に選定していただくよう要望をした。テーマは、様々な外国の昔話や自然に関係する内容、科学に関係する内容など幅広くテーマを要望することで、参加者の興味関心を引き出すようにした。

③施設ボランティアによる読み聞かせ

ボランティアのスキルアップのため、大型紙芝居や絵本の読み聞かせコーナーを施設ボランティアが主体となって運営できるようにした。事前に十分な練習時間を確保し、ボランティアに自信をつけさせて読み聞かせできるようにした。

④子どもゆめ基金の啓発

子どもゆめ基金の周知を図るため、報道機関へ広報依頼し、新聞や雑誌に紹介してもらうようにした。また、岡山市を中心に、近隣の市町の保育園、幼稚園や小学校、図書館や公民館等にチラシ配付を依頼し、事業への参加案内を行った。さらに、吉備中央町の町内放送やおかやま子育て応援サイト「こそだてぽけっと」に情報掲載を依頼し、様々な立場の方にも情報が行き届くようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程等

12月7日(土)「第2回森の図書館」

活動内容	15	16	17	18	19	20	21	22	場所
読書のタベ おはなしグループ「そらきたホイ」 (おはなし会・・・読み聞かせ・言葉遊び 詩遊び・ミニ工作等) 親子読書		受付	オリエンテーション	夕食	おはなし会	親子読書 入浴		就寝	オリエンテーション (学習室3) おはなし会 (学習室3) 親子読書 (ふれあいホール)
※翌朝8日(日) 7:45 朝の集いに参加。8:00 朝食。									

12月8日(日)「ブックワールド」

団体名	公演内容	演目	場所	時間											
				10:30	11:30	13:00	14:00	14:30	15:30						
糸人形劇団 つきみ草	糸人形劇	11キャベツ畑の 星下がり 12こんぎつね 13クワンクワン など	オリエンテーション室	公演①		公演②									
新見子ども読書会	影絵 ブラックライ ト	【影絵】 1 空を飛ぶふね 12 二支のはなし 【ブラックライ ト】 もちもちの木 など	多目的ホール			公演①		公演②							
岡山ストーリーテリング 研究会	ストーリーテ リング	10 わらべうた 10 日本のむかしばなし 10 外国のむかしばなし	学習室1	公演①				公演②							
ノートルダム清心女子 大学 児童文化部	大型絵本 ペーパーサー ト	【大型絵本】 1 すてきな3にんぐみ 【ペーパーサー ト】 ラチどらいおん など	学習室2			公演①		公演②							
おはなしグルー プ 「そらきたホイ!!」	おはなし会 工作	おはなし会テーマ 【出てくる出てくる!】 工作 【ねずみの伊勢参り おは なし道具】など	学習室3	公演①				公演②							
読書スペース			ふれあいルーム	随時											
レストラン吉備の森			レストラン		営業										
				9:30	10:30	11:30	13:00	14:00	14:30	15:30					

(2)活動の状況

①第2回森の図書館(宿泊型読書体験)

岡山県からおはなしグループ「そらきたホイ！！」を招聘し、お話を開催した。読み聞かせにより読書の魅力や言語活動の楽しさを十分に伝えていただいた。また、親子読書が楽しめるコーナーを設置した。おはなしグループ「そらきたホイ！！」のお話会で紹介された本を手にとったり、読み聞かせに挑戦したりする親子がいた。

②「ブックワールド」(日帰り型読書体験)

おはなしグループ「そらきたホイ！！」、「岡山ストーリーテリング研究会」、「新見子ども読書会」、「ノートルダム清心女子大学 児童文化部」、「糸あやつり人形劇団 つきみ草」よる5団体の公演に行った。それぞれの団体ごとに事業趣旨に沿った公演内容に工夫されており、親子で物語に魅了される公演であった。

また、施設ボランティアによる大型紙芝居と絵本の読み聞かせを行った。事前の練習では、物語の世界観を表現するために互いに意見を出し合い、また、本番では、積極的に子供たちに読み聞かせのコーナーに誘う姿があった。

④「読書スペース」

親子でゆったりとした雰囲気の中、読書の楽しさを味わってもらえるように、ブックバスケットを用意した。テーマ別に書籍を分けることで、参加者は興味のある内容のバスケットを選択し、親子で読み聞かせをする姿が見られた。

4. 成果・課題

(1)成果

- おはなしグループ「そらきたホイ！！」のお話会で紹介された本を手に取り読み聞かせに挑戦する親子や公演を子供達に見せたいと考える保護者があり読書活動の振興を図れた。
- 岡山県内の図書館を中心とする関係機関と連携したことで、多種多様な団体を招聘することができた。今後も、関係機関と連携を深め、読書活動の推進を図りたい。
- 多種多様な団体に日頃の活動を披露できるように事前に調整を図りながら公演(おとぎ話などをもとにしたストーリーテリング、影絵、糸人形、ペープサート、工作、お話を)を行った。各年齢層、親子対象に応じることができた。さらに、読書スペースを作り親子で読書ができるようにした。こうしたプログラム構成は、参加者の興味のある団体を選択できるので参加者からは好評であった。
- 大型紙芝居や絵本の読み聞かせコーナーを施設ボランティアに任せることにより、施設ボランティア自身が考えて行動する場面も見られ、スキルアップに繋がった。読み聞かせの工夫や参加者への関わり方等の今回の経験が、今後のボランティア活動に生かされることが期待される。
- 団体の紹介や公演場所、公演時間や内容を受付場所やレストラン前など人の目につきやすい所に計画的に掲示した。受付場所から離れた場所で公演する団体や読書コーナーの場所など、初めての参加者には分かりにくい場所があるが、スムーズに移動でき、公演に支障をきたすことがなかった。
- 事業開催時期を12月上旬にしたことで、参加者の道路の凍結や寒さの不安を緩和することができた。

(2)参加者アンケートから(抜粋)

- とても楽しく参加させていただきました。今回は3つしかみられませんでした。全部見てみたかったのが残念です。
- 今回初めて参加したが、大変楽しくためになった。また参加したい。
- 色々なお話にふれることができ、充実した時間を過ごせてもらいました。素晴らしい内容のグループばかりで、もっともっと沢山の子どもたちにも見てほしいと思いました。岡山市内での開催があると参加しやすいです。
- 子どもたちもよろこんでお話を聞いていて良かったです。また参加したいです。
- 前日にインターネットで偶然見つけたのですが、開催の案内をもっと宣伝していると良いと思います。広く友人にもおすすめしたいです。また、各々のイベントの対象年齢がある程度の目安があればより参加しやすいです。
- ゆっくりできるスケジュールでよいですが全部みることができない。



おはなしグループ「そらきたホイ！！」



親子読書



糸あやつり人形劇団 つきみ草



岡山ストーリーテリング研究会



ノートルダム清心女子大学 児童文化部



新見子ども読書会

(3)今後の課題等

- 運営側が期待していた参加者人数に達することができなかった。チラシや広報の時期、広報の場所や手段といった広報計画を見直すとともに、昼食の事前予約が必要などの参加条件も検討する必要がある。
- 公演の演目をしおりに載せて配ったり施設内に掲示したりすることで、参加者が公演を選択し参加したいやすくしたが、各公演の対象年齢も明記することで、さらに参加者が選択しやすくなる必要がある。
- 岡山県内の図書館を中心とする関係機関と連携したことで、多種多様な団体を招聘することができたが、すでに予定が入っており断られる団体も少なくなかった。年度始めから、団体と交渉を開始して参加者にとって魅力ある団体を確実に招聘していく必要がある。

担当：企画指導専門職 飯石 浩二